

「地域の文化施設を盛り上げよう」

本単元で育成する資質・能力

知識・技能, 思考力・判断力・表現力, 主体的に学ぶ力, 他者とかかわる力, 社会貢献力, 自己形成力

単元について

1 生徒観

本学年の生徒は、小学校での総合的な学習の時間において、それぞれの小学校区の自然や歴史等について、ゲストティーチャーを招いたり、インターネットで検索したりして調べ、模造紙にまとめたり、紹介ビデオを作成したりする学習を行っている。

文化施設について知っていることを交流した際、福山城、歴史博物館、美術館、人権平和資料館、文学館については所在地や展示物の内容をよく知っている生徒が多かったが、福寿会館や書道美術館については、所在地も展示物の内容もあまり知らない生徒が多かった。

また、課題解決をしよう(表1の①)としたり、情報を整理・分析する(表1の③)意欲は高いが、自ら情報収集(表1の②)したり、進んで考えを伝える(表1の④)意欲が低い。このことから、本校で設定した「育てたい資質・能力及び態度」については、「主体的に学ぶ力」と「表現力」に課題があると言える。一方、社会貢献力(表2)については、地域をよりよくしたいという意識は4分の3以上の生徒が持っている。

表1 「課題発見・解決学習」に係るアンケート結果

質問項目	よくあてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない
①授業では、解決しようとする課題について、「なぜだろう」「やってみたい」と思います。	42.3%	44.9%	11.0%	1.8%
②授業では、課題を解決するために、進んで資料を集めたり取材をしたりしています。	20.7%	41.4%	29.1%	8.8%
③授業では、比較・分類・関連付けして、何が分かるかを考えています。	39.8%	36.8%	21.2%	2.2%
④授業では、自分の考えを積極的に伝えています。	28.2%	33.0%	30.8%	8.0%

表2 社会貢献力に係るアンケート結果(①の方がレベルが高い)

評価基準	生徒の割合
①地域や社会に対して疑問や課題意識を持ち、どうすれば地域や社会がより良くなるかを考え、自分ができることを考え、自らの責任で判断し、行動(実行)することができます。	33.9%
②普段から、地域や社会をよりよくするために、「こうしたい」とか「こうなってほしい」と考えるようにしています。	45.1%
③自らの意志で、ボランティア活動等に参加し、地域や社会に役立とうとしています。	16.1%
④まだ③の段階に達していない。	4.9%

2 単元観

本単元は、地域の文化施設について調査し、「あまり知られていない」「行ったことのない人が多い」などの施設の現状と課題を見出すことを通じて、「施設に対して何かできることはないか」「もっと地域の文化施設を盛り上げることはできないか」をテーマに生徒たちが考え、整理し、まとめ、実行していくという単元である。

本単元では、次の2つの場面で課題となっている「表現力」「主体的に学ぶ力」を身に付けさせる。1つ目は、同級生や地域の人々との意見交換などの自分の考えを表現する場面である。2つ目は、博物館等で働く方々や街の人々など、様々な人と直接かかわる場面である。また、単元の学習を進めることにより、普段から地域や社会に対して疑問や課題意識を持ち、どうすれば地域や社会がより良くなるかを考え、自分ができることを考え、自らの責任で判断し、行動することができる生徒を育成する。

このように、自分の考えを表現したり、地域の人々とふれあったりしながら、社会貢献に向けて「課題発見」「課題の設定」「課題解決」の活動を行うことを通じて、他者のために自分なりにできることを考え、主体的に行動できる生徒を育てるとともに、課題解決の過程において、筋道を立てて考え、その考えを進んで相手に伝えることで、協働して課題を解決する楽しさや充実感を生徒に味わってほしいと考え、この単元を構想した。

3 指導観

指導にあたっては、課題となっている「表現力」と「主体的に学ぶ力」を高めるために、特に次の2つに留意して学習を進めさせる。1つ目は、学習形態である。基本的には学級単位で授業を行うが、必要に応じて同じ目的を持っている生徒同士で学習を進めることにより、考えを深めさせる。調べたり考察したりしたことを同じ目的を持っている生徒同士交流しあうことで、次の自分たちの学習に活かすことができ、考えを伝え合う必然性が生じるため、「表現力」も高めることができる。2つ目は、学校外の多様な立場の人々とふれあう場面を設定することである。地域の人々の願いなどの生きた情報を収集することで、課題をより身近なものとしてとらえさせ、進んで情報収集する意欲を高めることができ、「主体的に学ぶ力」を身に付けさせることができる。さらに、地域の人に自分の考えを伝える場面があることで、場面に応じたコミュニケーションの取り方を学ばせ、「表現力」も高めることができる。

それぞれの学習過程における指導のポイントは、次の通りである。

課題の設定の場面では、文化施設について知っていることを交流したり、身近な人へ文化施設についてインタビューをしたりすることで、自分たちも身近な人も、施設のことについてあまり知らないということを自覚させる。

情報収集の場面では、施設で働く人だけでなく、街を歩いている人へもインタビューをすることで、様々な立場から施設の魅力や課題を見出させる。

整理・分析の場面では、「アピールしたい魅力」「克服したい課題」などの視点を与え、文化施設を盛り上げる企画立案につなげていくという意識を持たせることで、整理・分析の方向性を示す。

まとめ・創造・表現の場面では、企画の提案を行う。企画第1案を作成した後、教員の助言や学級での質疑・応答により、加筆・修正を繰り返すことで、より良い企画を練り上げさせる。また、企画提案の本番では、関係施設の方にゲストティーチャーとして来ていただき、専門家からのアドバイスもしていただく。

実行の場面では、同じテーマの6グループの企画案から1つを選抜し、6グループの生徒が協力して企画を行う。

振り返りの場面では、毎時間行っていた振り返りをもとに行うことで、単元を通してどのような力が付いたのか等、具体的に振り返らせる。また、これまでの学習過程で行ったゲストティーチャーや他のグループの生徒などの他者からの評価も活用して、振り返らせる。

単元を通して、「課題発見・解決学習」の6つのサイクルを繰り返すことで、考えを深めさせていく。

単元 の 目 標

単元の活動を通して、地域の文化や文化施設の魅力と課題を見出し、さらに活性化するためにはどうすればよいかを考え、提案・実行することができる。

育てたい資質・能力及び態度における評価規準

資質・能力及び態度			評価規準
知識	知識・技能	知	①地域の文化施設について理解を深めることができている。
スキル	思考力・ 判断力・ 表現力	思	①調べた情報から必要な情報を抽出し、自分なりにまとめることができている。 ②現状を踏まえ、これから何をすべきかを自ら決定することができる。 ③相手に伝えたい内容を精選し、分かりやすく伝える工夫をしている。
意欲 態度	主体的に学ぶ力	主	①自ら課題を見出し、課題解決の方法を考えようとしている。 ②自ら課題を見出し、協働して解決しようとしている。
価値観 倫理観	他者とかわる力	他	①地域のニーズを見出すために、地域の人と話し合うことができる。 ②課題を解決した成果を地域の人と共有できる。
	社会貢献力	社	①地域の課題解決のために、何をすべきかを考えることができている。
	自己形成力	自	①課題解決に向けて、前向きにチャレンジしている。 ②単元を振り返り、この地域でよりよく生きるとはどういうことか考えることができている。

単元と評価の計画

1 年間の指導計画

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
単元	「地域の文化施設を盛り上げよう」 (40時間)						「職業ロードマップをつくろう」 (10時間)					
	地域理解・社会貢献						自己探究					

2 単元と評価の計画

小単元名	学習過程	時数	学習内容 学習活動	評価規準 (評価方法)	教科との関連
「地域の文化施設を盛り上げよう」	情報の収集	1	○地域の文化や文化施設，文化ゾーンについて交流する。 ・単元ガイダンスを聞き，小学校で学んだことを交流する。(1)	【思-③】 (行動観察) (自己評価表)	
		2	○調査テーマを決定する。 ・文化施設について知っていることを交流し，調べたいテーマを決定する。(1)	【思-②】 (行動観察) (自己評価表)	⇒【英語】 福山市の好きな場所の紹介
		3	○事前調査をする。(身近な人へのインタビュー) ・事前調査の質問事項を考える。(1)	【思-③】 (行動観察) (自己評価表)	
		4	・インタビューのマナーについて理解し，インタビューの練習をする。(1) (・家庭でインタビューをしてくる。)		
	課題の整理・分析	5	○事前調査の分析をする。 ・事前調査の集計・分析を行い，利用者側から見た施設の魅力と課題を見出す。(2)	【思-①】 【思-②】 (行動観察) (ワークシート) (自己評価表)	⇔【数学】 情報を表やグラフを用いて整理する
		10	・事前調査の発表準備をする。(2) ・事前調査の分析結果を交流し，他グループの視点を自分のグループに活かす。(1) ・事前調査の分析結果をもとに，施設や街頭でインタビューする内容を定める。(1)		
	情報の収集	11	○実地調査をする。(施設・街頭でのインタビュー) ・手紙の書き方，電話の仕方について学ぶ。(1)	【知-①】 【他-①】 【思-③】 (行動観察) (ワークシート) (自己評価表)	⇔【国語】 手紙の書き方 敬語の使い方
		17	(・夏休みを利用して担当の施設に行き，気付きや疑問点をまとめる。) ・宿題をもとに質問事項を再考する。(1) ・アポイントを取り，行動計画を作成する。(2) ・実地調査(施設と街頭でインタビュー)する。(2) ・礼状を書く。(1)		
	整理・分析	18	○実地調査の結果を分析する。 ・実地調査の結果を集計する。(1)	【思-①】 (行動観察) (自己評価表)	
		20	・実地調査の結果から，施設側・利用者側から見た施設の魅力と課題を見出す。(1) ・実地調査の分析結果を同じテーマ内で交流する。(1)		
課題の設定	21	○文化施設活性化のための課題を設定する。 ・実地調査の分析で見出した課題のうち，どれを解決するのか決める。(1)	【主-①】 (行動観察) (自己評価表)		

情報収集	2 2	○企画立案のためのアイデアを出す。 ・ブレインストーミングの練習をする。(1)	【主-①】 【社-①】 (行動観察) (自己評価表)	
	2 3	・ブレインストーミングでアイデアを出す。(1)		
整理・分析	2 4	○企画書を作成する。 ・実現の可能性と効果の有無を吟味し、どのアイデアを採用するか考える。(1) 【本時】	【主-②】 【社-①】 (行動観察) (ワークシート)	
	2 7	・企画書第1案を作成する。(2) ・実現の可能性と効果の有無を吟味し、企画書に加筆修正を加える。(1)	(自己評価表)	
まとめ・創造・表現	2 8	○企画書を提案する。 ・提案のための発表原稿をつくる。(1)	【他-②】 (ワークシート)	⇔【国語】 ポスターセッションをしよう
	3 3	・学級内でポスターセッションのリハーサルを行い、相互評価を行う。(1) ・企画書および発表原稿の修正を行う。(1) ・関係施設の方にゲストティーチャーとして来ていただき、ポスターセッションを行う。(2) ・企画書の最終案を作成する。(1)	(自己評価表)	
実行	3 4	○企画を実行する。 ・企画実行のための役割分担・準備をする。(2)	【自-①】 【社-①】 (行動観察)	
	3 7	・企画の実行をする(2)	(自己評価表)	
振り返り	3 8	○単元の振り返りをする。 ・学区内の小学4年生と、学習したことの交流することで、自分たちの活動についてアピールする。(2)	【自-②】 (自己評価表)	
	4 0	・学習前と学習後において、どのような力が付いたか、地域に対する考えがどのように変わったかを振り返る。(1)		

本時の学習展開

(1) 本時の目標

企画のアイデアについて実現の可能性と効果の有無を吟味し、どのアイデアを採用するか考えることができる。(【主-②】自ら課題を見出し、協働して解決しようとしている。)

(2) 準備物

ワークシート、付箋、座標軸、マジック、カード、授業の流れ・吟味の指標の掲示物、磁石

(3) 学習展開 (24 限目/40)

整理・分析

	学習活動	指導上の留意点	評価規準 (評価方法)
導入	1 本時のめあてと学習の流れを確認する。 ①本時の活動の見通しをもつ。 ・実現できるかどうか、効果があるかどうかを考える。 ・どのアイデアを採用するか考える。 ・クラスに発表する。	①・前時にアイデアを出しておく。 ・座標軸の使い方について説明する。	
【本時のめあて】 施設の活性化のためのアイデアを吟味して、採用するアイデアを考えよう。			

<p>展開</p>	<p>2 アイデアを吟味する。</p> <p>①座標軸に付箋を貼り、実現できるかどうか、効果があるかどうかを考える。</p> <p><予想されるアイデア></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ボランティアガイド ・チラシ配り ・グッズ ・スタンプラリー ・ジンクス ・ランニング、ウォーキングコース (マップ) ・忍者隊 ・写真スポット ・CM 動画 ・ハッケン福山, レディオ BINGO 等出演 ・城北中学生の作品コーナー ・ポスター ・外国語のパンフレット ・ゆるキャラ <p>②話し合ったことをもとに、どのアイデアを採用するか考える。</p> <p>③採用したアイデアを学級で発表する。</p>	<p>①・実現の可能性, 効果の有無について吟味する際に指標となる項目を提示する。</p> <p>(実現→中学生にできるかどうか 金銭面, 人手, 時間, 技術, 施設の許可 等 効果→人が集まるか)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・なぜその位置に貼ったのか, 理由も書かせる。 ・実現できそうにないアイデアや効果がなさそうなアイデアについて, 改善策も考えさせる。 <p>②・安易に多数決をせず, よく話し合っ て決めるように指導する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・できそうな企画ベスト3まで決めさせる <p>③・解決しようとする課題とアイデアを 発表させる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・話型を示す。 ・1つに絞れなかった場合は, 候補として残っているものを発表させる。 	
<p>まとめ</p>	<p>①本時の振り返りをする。</p> <p><予想される反応></p> <ul style="list-style-type: none"> ・アイデアを考えた時は実現できないと思っていたけど, 話し合ったら実現できるアイデアに改善できて良かった。 ・実現できそうか, 効果がありそうか班でよく考えられたので, 実際にやってみるのが楽しみになった。 ・話し合いでは言えなかったけど, ○○というアイデアは△△だから, 効果があると思う。 <p>②次時の予告を聞く。</p>	<p>①話し合いで言えなかった意見も書いて良いことを伝える。</p> <p>②次時で企画書を作成することを予告する。</p>	<p>【主-②】</p> <p>自ら課題を見出し, 協働して解決しようとしている。</p> <p>(自己評価表)</p>

○使用する座標軸

